



AUE News



2011年9月1日

第 23 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500

目次

- 省エネニュース@愛教大
- 行事予定(9月1-15日)
- トピックス
 - ・地下水浄化サービス通水式
 - ・高校生サイエンス・サマー・キャンプ
 - ・小学校教師のための理科実験セミナー
 - ・日本の地獄絵展
 - ・教員免許状更新講習でNIE講座
 - ・労基法の説明・学習会
 - ・IDE大学セミナー
 - ・インターンシップ
 - ・私立藤ノ花女子高校と富山県立八尾高校が本学見学
- ・KAGAC教員免許状更新講習修了試験
- ・GPAと入試成績に関する分析報告会
- ・学生ボランティアを中日新聞が取材
- 教育復興支援学生ボランティア報告
 - ・第1陣第2期派遣
 - ・第2陣第3期派遣
- お知らせ・報告・投稿
 - ・「食まるファイブ」商標登録と食育劇
 - ・教職員のためのエクセル講習会
 - ・留学生と交流イベント
 - ・催しもの案内

省エネニュース@愛教大

2011年度愛知教育大学緊急節電対策の啓発活動として、「AUE News」で省エネに関するニュースをお知らせします。今回はNo.5(作成は「省エネワーキンググループ」)です。節電にご協力ください。

NO5 照明・空調の工夫を!

●第一共通棟「省エネ」対策



照明・空調人感センサー
照明・空調の消し忘れ防止対策!



緑のカーテン
日射を減らし、空調効率を向上!



空調室外機(エコマット取付)
水の噴霧で熱交換の効率向上!

●講義室「省エネ」のポイント

- ①消し忘れはNG! 最後の人は、照明・空調のスイッチoff!
- ②夏期の空調室内温度は、28℃でお願いします。



行事予定(9月1-15日)

- 6日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
7日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)

- 学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
- 12日(月) 教員人事委員会 (10:00～ 第五会議室)
- 13日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 14日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)
- 教育研究評議会 (代議員会終了後 第五会議室)

トピックス

地下水浄化サービス通水式(8/17)

本学に導入した地下水浄化サービス事業が8月17日(水)から運用開始となり、同日午後、プラント前で、関係者約30人が出席して通水式が行われた。

冒頭、松田正久学長が「大学の運営上、経費削減は大きな課題であり、今回の地下水浄化サービスの利用で年間800万円程度の削減ができる予定。また本学が提唱している、環境重視型エコキャンパスの創造に沿った計画でもあります」とあいさつし、学長、理事によりテープカットが行われた。続いて、松田学長が始動ボタンを押して装置が起動、プラントの本格運用がスタートした。早速、参加者が試飲し、「今までの水より冷たい」などと違いを確認して式を終えた。



このプラントは、地下水を処理して飲料水として既存の受水槽に送る仕組み。地下水9：水道水1の割合でブレンドすることで大幅な経費削減が図れる予定。また、地下水は年中一定の水温のため、夏は冷たく、冬は温かい水を供給することができるなどのメリットもある。

(施設課課長補佐 加藤正俊)

高校生サイエンス・サマー・キャンプ(8/18,19)

高校生を対象にしたサイエンス・サマー・キャンプが8月18日(木)、19日(金)、本学の自然科学棟などを会場に開催された。

今年で6年目。2日間にわたって、物理学、化学、生物学、地学、天文学と理科の各科目で大学レベルの高度な実験や観察を体験し、自然科学を学ぶ楽しさを実感してもらうのが狙い。今年は県内を中心に、東京、熊本などからも合わせて計23人が参加した。

18日は午前9時から開講式とガイダンスがあり、

星博幸准教授(理科教育)が「高校ではなかなかできない理科のすべての科目の実験・観察をします。皆さん、この機会に新しい発見をしてください」とあいさつし、スケジュールの案内、講師や学生アシスタント、受講生の紹介、集合写真の撮影が行われた。9時40分からは、物理学講座がスタート。岩山勉教授の指導で「身近な現象を物理の眼でみてみると」と題した講座では、光と色の3原色の違いやLEDライトなどについて学んだ。分光シートを通しての光の観察では、思わず「お～！」と声上がり、色が混ざっていることを実感。また、実験用の発電キットを組み立ててLEDライトを灯す実験にもチャレンジした。



午後は星准教授による地学講座「川砂に見る驚きの世界」、夜には澤武文教授による天文学講座「小型天体望遠鏡を使った星の色の観察」、翌19日には稲毛正彦教授による化学講座「光(電磁波)で見る分子の世界」、菅沼教生教授による生物学講座「DNAの抽出と電気泳動」を受講して、理科の幅広い分野の楽しさを体感。



また、多くが宿泊した刈谷市洲原ロッジでは学生や教員と歓談したり、2日目の昼食時には大学構内を学生の案内で見学したりと、先生や学生と交流しながら大学生活について知ることができ、高校生たちは1泊2日のキャンプを満喫した様子だった。

小学校教師のための理科実験セミナー(8/19, 22)

「第1回東海地区小学校教師のための理科実験セミナー」が8月19日(金)、22日(月)、本学自然科学棟で開催された。

このセミナーは、日本理科教育振興協会が主催、本学などの共催で開催。東京、大阪地区では既に実施されているが、東海地区では初めて。今回は両日で物理、地学、化学、生物の計8講座が開かれ、愛知、岐阜、三重の3県から延べ40人余が受講した。

19日の開校式では、同協会の大久保昇会長が「今回の学習指導要領の改正で、日本のリーダーを育てるためには、自分の意見をしっかりとまとめて話せる能力を重視。それには理科は大切です。先生方にはセミナーでの体験を学校現場で生かしていただきたい」などとあいさつ。本学の松田正久学長も「本学も、ものづくり推進の授業や訪問科学実験などを行い、理科好きの学生を育てる取り組みを行っています。子どもたちはバーチャルな世界に親しんでいますが、理科や科学でリアルな世界を知ることが必要。実験を楽しんで、理科の楽しさを子どもたちに伝えてください」と受講生に語り掛けた。

両日、午前と午後に各分野の講座を開講。物理講座では、岩山勉教授の指導で受講者は新学習指導要領の「電気の利用」単元に沿って、電気の働きについて学び、授業の際の導入用の手回し発電機やコンデンサーを使ったおもちゃを作成した。受講者は「理科の専門でないので、安全で楽しい、ためになる実験を知りたいと参加しました」「小学生が楽しめる実験を学んで帰りたい」と意欲的に実験に参加していた。

その他の講座では、地学「新学習指導要領“月と太陽”単元」、化学「化学薬品と実験器具の安全な取り扱い方」、生物「昆虫とメダカの飼育と観察方法の基礎」の内容で行われた。



日本の地獄絵展(8/19-28)

刈谷駅前商店街とのコラボレーションによる展覧会「パネル展 日本の地獄絵」が、8月19日(金)～28日(日)、刈谷市の駅前ギャラリー「スペースAqua(アクア)」で開催された。



同商店街振興組合と本学による今年度のコラボレーション事業「UNOセレクション」の第4弾。地獄絵研究の第一人者、本学の鷹巣純准教授(美術教育)が研究する地獄絵をパネルで紹介するのが同展。地獄絵の始まりから、江戸時代に人気を博した地獄絵まで、地獄絵と解説の計127点で、その人気の秘密に迫ったユニークな展覧会。

20日(土)午後には、江戸の地獄絵講座「熊野観心十界図と絵解き」と題して、鷹巣准教授がレクチャー。江戸時代に地獄絵の絵解きが女性の間でブームになり、そこには女絵解き師・熊野比丘尼たちの活躍があったなどと、地獄絵の歴史や人気の秘密を軽妙な語り口で紹介。28日も「熊野比丘尼と浄土双六」のテーマで、人々が極楽に行きたいと願って挑んだ“死後の人生ゲーム”浄土双六についての講演が行われた。両日とも定員いっぱいの約30人が熱心に耳を傾けた。

鷹巣准教授は「地獄というと恐ろしい場所を思われますが、極楽への通り道。地獄絵には苦しみだけでなく救いも描かれていて、ものすごくたくさんの絵が描かれています。絵の語りも一通りでないはずで、複雑な構成があって飽きません。鬼の顔もどこか間が抜けていて、ユーモラス（笑）。夏休み中なので、親子連れにも楽しんでもらえるように、展示の高さも工夫しました」とアピール。講演後も、参加者からの質問が絶えず、死後の世界に多くの来場者が魅了された様子だった。



教員免許状更新講習で NIE 講座(8/22-24)

2011 年度の教員免許状更新講習として、新聞を使った NIE 講座が 8 月 22 日（月）～24 日（水）に第一共通棟で開催された。

学校と新聞社が協力して NIE（教育に新聞を）活動が行われており、同講座では実際に新聞制作に携わる講師から新聞の作り方・読み方の説明を受けて理解し、新聞制作や模擬記者会見を通して、学校でのコミュニケーション指導に役立てるのが狙い。各日、定員いっぱいの約 50 人が参加した。



22 日は新聞切り抜き作品づくりに挑戦。各自があらかじめ決めた「震災」「エネルギー問題」「夏休み」などのテーマにそって準備した新聞の切り抜きを模造紙にレイアウト。受講者は「やってみると以外に難しい」と悩みながらも、切り抜きを張り、見出しを書き込んでオリジナル作品を完成させた。

23 日（火）は、土屋武志教授（社会科教育）が新聞を使ったコミュニケーションについて「子どもの読解力を養うのに、新聞は一つのトレーニング材料になります」などと新聞が教育に有用なことを紹介。その後、中日新聞編集局の佐藤亮局次長による「ある日の編集室」と題した講義が行われ、東日本大震災のニュースをどのように報道したかを、実際の紙面を見せながら解説。どのように紙面が作られたか、新聞記者の取材の様子など、制作者ならではの話が語られ、受講者は画面に食い入るように聴き入っていた。午後からは、インタビューにも挑み、地雷撲滅運動に取り組む立命館大学院生の柴田知佐さんを迎え、記者会見方式でのインタビューし、記事にまとめた。



最終日の 23 日には学級新聞や学級通信の制作を学ぶ講習もあり、実際に作成し、講師による講評が行われた。

労基法の説明・学習会(8/22)

8月22日（月）午後2時～4時、附属岡崎小学校の会議室で、岡崎労基署監督官、戸寫浩視氏による労基法の説明・学習会を行いました。参加は、附属三校（小・中・養護）の教諭・校長・副校長・教頭あわせて約60名。大学法人から、総務担当理事、附属学校部長、同課長、人事課係長が出席しました。



約80分間、監督官が、憲法論にはじまり、自由と義務の検討も経て、労基法とは何か、それが「強行法」（任意法ではない）の性格をもつのはなぜか、密接に関わる労働安全衛生法の要件は何か、などを相当量のパワーポイントのスライドを使って説明しました。

質疑では、「公立学校教員と附属学校教員とでは（勤務の仕方）でどう違うのか」「（自主的な

研修の部分はどう考えたらいいか」「労基法はそもそも『労働』をどういうように規定しているのか」などの論点が出され、監督官は、「法人の職員としては労働形態の問題は企業体と一緒に、（国家公務員時代にはなかったが）今は監督署のウォッチングを受けている」「業務につながる活動は全て労基法の言う労働だ、と考えている」などと応答しました。

最後に、理事が、戸畷氏への謝辞を述べたあと、参加者に対して、「今回の学習会を活かして、働きやすい職場をめざし、健康な状態で子どもの前に立って実践のできる附属学校をつくり上げていただきたい」とあいさつしました。
(総務担当理事 折出健二)

IDE大学セミナー(8/23)

「大学職員力を鍛える」をテーマとした2011年度のIDE大学セミナーが、8月23日(火)に名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホールにて開催されました。



午前の部は「課長が職場と大学を変える」という題目で中央大学横浜山手経営再生室の横田利久部長の講演がありました。中央大学に入職して課長になるまでの体験、課長として総合政策学部を新設するにあたっての取り組みなどが紹介され、実現するための戦術として、ブレないように自らの確信と決意に基づく「①

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠

私立藤ノ花女子高校、富山県立八尾高校が本学見学(8/24、25)



私立藤ノ花女子高等学校（豊橋市）の1、2年生計35人と教員2人が、8月24日（水）午前、本学を見学を訪れた。

バスで到着すると、法人運営課職員の案内で第一共通棟315教室へ移動、総務課職員から大学概要を、教務課職員からカリキュラムについて説明を受けた。附属図書館では職員から図書館の概要説明などを聞きながら、豊富な教育関係の書籍や女性専用閲覧コーナーを興味深そうに見て回

った。少し早めの昼食を生協の食堂で味わい、キャンパスライフをちょっぴり体験して、正午過ぎに本学を後にした。

25日（木）午前には、富山県立八尾高等学校の1年生12人と教員2人が来学。本部棟第五会議室で、大学概要や入試について各担当職員から説明があり、続いて模擬授業が行われた。富山県で高校までを過ごした山口匡准教授（学校教育）が、「教育入門一步前：学校を考えるためのウォーミングアップ」と題して、大学での授業や日本での学校教育の変遷などを約50分間講義。高校生たちは、「高校での授業と違って難しかった。自分で考えることが大切だと感じた」などと感想を口にし、代表者が「ありがとうございました」とお礼の言葉を述べた。その後は、附属図書館の見学、生協の食堂で昼食をとり、正午にはバスで出発して、見学を終了した。



KAGAC教員免許状更新講習(eラーニング)修了試験(8/27)

8月27日（土）、本学においてKAGAC教員免許状更新講習（eラーニング）修了認定試験が行われた。



これは、金沢大学、東京学芸大学、千歳科学技術大学と本学の4大学が連携し、インターネットを利用して講習した後に最終試験として全国5地区の会場（北海道、関東、東海、北陸、関西）に分かれて実施されたもの。

教員免許更新制は2009年度から本格実施し、今回が3回目。更新制は「教員としての必要な資質能力が保持されるよう、最新の知識技能を身に付けることで

教員が自信と誇りを持って教壇に立ち社会の尊敬と信頼を得ることを目指すもの」とされている。

本年度は全体で2,313人が受験し、東海地区の会場の一つとなった本学の受験者数は必修領域が535人、選択領域が629人に上った。試験はこの日午後、第一、二共通棟の大講義室で行われたが、教育創造開発機構運営課職員、学生らが朝から入念に準備。受付時には多くの受験者が行列を作ったが、試験本部に岩崎公弥理事が詰め、教員が手分けをして試験監督を務め、大きなトラブルもなく、無事終了した。

（教育創造開発機構運営課課長補佐 近藤修）

GPAと入試成績に関する分析報告会(8/29)



本学の入試とGPA（学生の成績評価値）の関係を探る「GAP分析および入試成績に関する分析結果報告会」が8月29日（月）午前、本部棟第五会議室で行われた。

報告会には松田正久学長をはじめ、役員や幹部職員など20人ほどが参加。最初に、村松常司特別研究員が収集した全国の教育大学の偏差値や推薦入学の実施状況、選抜結果、入試科目などの詳細なデータを示し、本学と

の比較、最近の傾向や課題を洗い出した。出席者から「推薦により質の高い学生が集まる効果はあるのか」など、今後の入試の方向性を探る質問がされた。

次いで、佐藤洋一特別研究員が、「入試・GPA・進路に関する調査結果」と題して、センター試験と個別学力の相関、入試と学業成績の相関などについて、細かな分析の結果を説明。グラフや相関図を示して、「GPAと教育実習にプラスの相関がある」などと報告。「GPAとの関係、入試との関係が分かってきた」「教科ごとの分析をして、教員に分かってもらうことも大事」などの意見が交わされ、分析の必要性と結果の有効利用が確認されて、この日の報告会が終了した。



震災ボランティア学生を中日新聞が取材(8/30)

東日本大震災の学習支援ボランティアを体験した学生が8月30日(火)に本学で、中日新聞記者のインタビューに応じた。

教員を目指す学生たちの話を聞きたいと取材の申し入れがあり、第3期(本学としては第2弾)で派遣された5人のうち、都合のついた3人の学生が対応した。



現地の印象や感想を聞かれた学生は、「一見、愛知の子どもたちと変わらないように元気だったが、私に分らなかつた地鳴りが聞こえると言ってきて、今も子どもたちの日常生活に震災の影響があることを感じた」「子どもたちから話を聞くことで心のケアができたらと思ったが、現地では何もしてあげられなくてもどかしかった」などと率直な思いを口にした。

「学んだことは？」の質問には「愛教大のボランティアで行ったことで、現地の先生たちの話を聞くなど普通のボランティアではできないことができた。子どもたちにとって、学校が安心な場所ではなくてはならないと感じた」「先生は家族のことを心配する前に、子どもたちのことを心配した。本当に覚悟がいる仕事だと思った」など、教師や学校についての役割やあるべき姿を確認するように話した。

3人は「行ってよかった。教員志望の人にはぜひ、ボランティアに行ってみてほしい」と口をそろえ、「映像で見ると、実際に現場に立つのとは全然違って」「地震が怖いというだけでなく、普段の幸せや命の大切さを伝えられる」と、ボランティア参加で、将来に向けての決意と自信を深めたようだった。

インタビューの様子は、8月31日(水)の中日新聞朝刊(西三河版)に掲載された。

教育復興支援学生ボランティア報告

本学では東日本大震災の被災地の教育復興を支援する学生ボランティアの派遣を始めました。ボランティア活動の報告を紹介します。

第1陣第2期派遣(8/8-12)

東日本大震災に係る教育復興支援ボランティアとして、本学にとっては第1陣となる第2期派遣チームが、宮城県立志津川高等学校(宮城県南三陸町)での8月8日(月)から12日(金)の5日間にわたる夏季休業中における学習支援を終了して、本学に戻ってきた。

第2期派遣チームには、本学からは井上佳菜(初等・理科, 1年)さん、青木遥花(初等・理科, 1年)さん、林菜里(初等・音楽, 2年)さん、水谷香菜(初等・音楽, 2年)さん、富田大樹(初等・数, 3年)さん、海平将旭(初等・理科, 3年)さん、緒方



佑香（初等・国際文化，4年）さんの7人が参加した。10日（水）からは、宮城教育大学から羽生静香（特別支援・3年）さんも参加し、学生8人による学習支援となった。

7日（日）21時15分に名鉄バスセンターに集合したメンバー達は、21時30分発の仙台行き高速バスに乗り込み、言葉少なく目的地を目指した。9時間40分の道のりを経て翌8日（月）7時10分に仙台に到着し、直ちに宮城教育大学が用意してくれていたマイクロバスに乗り換え、今回の世話人となった阿部理事と桑田さんとともに、津波による大きな被害を受けた宮城県南三陸町にある宮城県立志津川高等学校に約2時間をかけて移動した。

8日9時45分に志津川高校に到着し、日下校長及び佐藤教頭を前に、自己紹介を行った後、学習支援を始めた。活動場所は、校舎2階にある学習室で、自学自習のために通学してきた生徒から質問されたところを教えるという形態で、毎日朝10時から昼食を挟んで15時まで行われた。12日（金）までの5日間は、毎日10名程度の生徒が固定で参加し、学生はほぼマンツーマンで教える状態であった。

また、10日（水）には、佐藤教頭の配慮により、12時50分から13時30分の間で志高避難所での昼食体験（おにぎり、マフィン、飲み物が各1個）と15時から16時の間で避難所運営代表者山内氏、避難所自治会代表佐々木氏などとの交流会があり、被災当日の状況や避難所を運営する上での苦労話など体験談の聞き取りが行われた。

最終日の12日（金）には、活動終了後にお別れ会があり、生徒からのお礼の言葉と学生からの感想が述べられた。泣きながら話をする場面もあり、それぞれの学生にとって、印象深い経験になったものと思う。最後に、生徒も含めた全員で記念写真を撮影し、帰路に着いた。仙台までのマイクロバス車内では、1週間の共同生活により、来る時とは雰囲気が異なり、さながら修学旅行のノリであった。

活動期間中の宿泊場所は、「南三陸ホテル観洋」で、復旧工事関係者やボランティア活動の宿泊利用とともに、被災者の避難所にもなっていて、食事は一般の宿泊者とは別に支援物資を中心としたメニューでセルフサービスだったが、風呂は宮城県内では珍しい太平洋沿岸に湧き出た温泉が自慢のホテルだったため、朝日を見ながらの朝風呂は最高で、疲れた体を癒やしてくれた。

最後に、今回のボランティア活動のコーディネートを行っていただいた宮城教育大学の関係者に感謝するとともに、本学学生には今後も継続的なボランティア活動への参加を伝えたい。

（学生支援部長 山本 良夫）



第2陣第3期派遣(8/16-21)

本学としては第2陣となる第3期派遣チームの学生5人は8月16日（火）夜、名古屋駅を夜行バスで出発し、21日（日）まで、宮城県気仙沼市の2中学校で活動した。活動日は18日



（木）、19日（金）の2日間だったが、小中学生の勉強を見て回り、質問に答えては丁寧に教えるなど、一緒に活動した宮城教育大学の学生、大学院生も高く評価していた。現地では活動の合間を縫って被災地の様子を目の当たりにするとともに、気仙沼市内の小学校で被災し、児童、地域住民とともに学校で一夜を過ごした千葉順子教諭から貴重な体験談を聞き、充実した6日間を過ごし、無事、愛知県に戻った。

派遣メンバーは水野由佳さん（初等・社会，2年），佐藤初美さん（初等・家庭，2年），梅田泰志さん（中等・数学，2年），鈴木彩奈さん（初

等・教育科学，3年），玉腰美那子さん（初等・教育科学，3年）。

8月17日（水）朝，仙台駅に到着した一行は，市バスで宮城教育大へ。同大職員から活動日程，内容の説明を受け，震災で窓ガラスが割れた体育館など学内施設を見て回った後，バスに乗り，仙台駅で福岡教育大学の学生5人を乗せて，宿泊先の気仙沼市へ向かった。途中，海岸に



近い国道沿いには船やさびた鉄くずと化した乗用車，倒壊した家屋，なお寸断されたままの道路，橋，線路などが見えると，バスのガラス越しにカメラで撮影していた。

活動日の18日，19日は朝，本学学生は2人と3人に分かれて宿舎をタクシーに分乗して出発し，唐桑，津谷の2中学校へ向かった。学校では，20～30人の児童生徒がそれぞれ持ち込んだ問題集や参考資料を基に自習を開始。本学学生は宮城教育大学学生とともに席を回って，指導。中には床に膝をついて児童生徒と向き合い，じっくり教える学生の姿も見られた。19日も小学生，中学生それぞれのクラスで指導。津谷中学校では午後，中学1年，2年，3年と学年ごとに別の教室で指導。本学学生の一部はさながらクラス担任のように1人で十数人の生徒を指導。冗談を言い合うなど，うち解けた雰囲気の中で「授業」を進めていた。



被災地の現状を学生に見てもらおうと，18日の夕方は街が消え，市役所機能も壊滅的な打撃を受けた陸前高田市

視察を計画。津波にさらわれた地域や松林に奇跡的に残った1本の松を見て，全員で黙祷を捧げた。19日は千葉先生に宿舎に来ていただき，約1時間話を聞くことができた。本学学生5人に，ボランティア活動仲間の福岡教育大学，宮城教育大学学生も加わり，約20人が参加，震災前の児童との対話やパニックにならないよう必死に耐えた学校での生々しい様子を千葉先生が語ると，学生たちは熱心にメモをとり，中には涙ぐむ学生もいた。質問も出され，皆，防災教育とは何か，改めて考えていた。翌20日（土）朝，千葉先生は宿舎を再訪。小学校を取材したテレビ番組のDVDとそれぞれ本学，福岡教育大，宮城教育大の学生に宛てた手紙を持参され，「昨夜の話の補足資料になればありがたい」と話した。



20日午後には，やはり壊滅的な津波被害を受けた名取市の港を見に出かけ，最後に仙台城跡を見学，バスで帰路につき，21日（日）朝に帰名し，6日間の日程を終了した。

（法人運営部長 中原道文）

ボランティア登録について

本学では今後も長期にわたって東日本大震災被災地への教育復興支援学生ボランティアの派遣を続けていく予定です。引き続き、ボランティア登録を行っていますので、希望者は学生支援部長の山本までお問い合わせください。

TEL : 0566-26-2107 FAX : 0566-26-2170 E-mail:yama.moto@office.aichi-edu.ac.jp

お知らせ・報告・投稿

「食まるファイブ」商標登録と食育劇(報告)

本学で生まれた食育キャラクター「食まるファイブ」がこのほど、商標登録された。

「食まるファイブ」は、2006年に西村敬子教授（現・名誉教授、家政教育）の研究室の院生が「食事バランスガイド」にちなんだ5食の栄養指導手袋を考案したのが始まり。中指を主食エリアの黄色の「りきまる」、薬指を副菜エリアの緑色の「ベジまる」、人差し指を主菜エリアの



赤い「にくまる」、小指を果物エリアの紫の「フルーツまる」、親指を牛乳・乳製品エリアの白い「ほねまる」と五つのキャラクターにして、バランスのいい食生活の大切さを子どもたちに楽しみながら学んでもらおうと誕生した。食まるファイブが協力して「メタボ軍団」を倒す絵本に愛知県食育振興課が注目。同課が絵本を制作して県内の小学校に配布し、2007年度からは小学校やイベント会場で劇を上演するなどして、子どもたちの人気キャラクターに“成長”。2010年6月には東海地区のコンビニなどで、食まるファイブのお弁当が期間限定で販売されて評判を呼んだ。

本学では「食まるファイブ」の商標登録を昨年4月に特許庁に出願し、今年7月22日付で登録された。本学としては初めての商標登録で、今後は大学の財産として生かしていくことになる。

また、今年度も引き続き、食育劇の上演が決定。愛知県食育推進課の事業として、9月5日から約2ヵ月間で県内全域の小学校と特別支援学校計90校で実施される予定で、8月11日(木)、18日(木)、23日(火)には本学で稽古が行われた。緊急雇用創出事業により雇用された人たちで構成された劇団が、本番さながらに衣装をまとい登場。西村名誉教授が「小学生が興味を持ってくれるように、食まるが大切だと伝えてください」とアドバイスして、一人ひとりの動きを確認した。



教職員のためのエクセル講習会(報告)

『学ぶポイントを絞ってエクセルのコツをつかもう!』を目標に、第1回目は7月15日(金)午後1時から、第2回目は8月9日(月)午後1時から、情報処理センターコンピュータ教室で同センター主催のエクセル講習会を開催しました。第1回目は、「とても便利」なのに、つまづく人も多い『Vlookup関数』。第2回目は、ショートカットキーやマウスとキーの組み合わせですばやく操作できる、覚えると便利な『エクセル操作上の小技』を取り上げました。講師は第1回・第2回とも土井が担当しました。



「30分プチエクセル講習会」と告知していましたが、業務で活用していただきたい内容が盛りだくさんとなり、時間をオーバーしてしまいました。それでも、「わかりやすかった」「とても参考になった」という感想をいただき、参加された方の「学ぶ意欲」に助けられました。

得意な方は自分で調べたりして使いこなしていけると思うのですが、ちょっとした苦手意識がある方や「どこから勉強して良いのかわからない」というような方も多いと思います。この講習会では、そんな方が一歩踏み出せるような内容を心がけました。

「次回も楽しみにしています」「定期的に開催してください」という声もたくさんいただきましたので、今後も同じコンセプトで続け、他のソフトでも開催していけたらと思っています。今後も試行錯誤しながらよりためになる講習会を目指しますので、ぜひお気軽にご参加ください。

(情報図書課 情報システム係 土井宏美)

日本人ボランティアによる留学生との交流イベント(報告)

8月9日(木)、「インターナショナルナイト」と題した交流イベントが国際交流会館前で開催された。日本人ボランティア学生が留学生と交流し、日本の文化を紹介するのが目的。日本人ボランティア学生は、国際交流センターが留学生との交流、学校生活支援を目的として募集しており、今年度初めての学内イベントとなった。



この日は午前中から、留学生と日本人ボランティア学生が協力して竹をきり、夕方から始まる流しそうめんの準備を行った。共同で作業を行うことによりお互いの距離も縮まり、あちこちから楽しそうな会話が聞こえてきた。午後4時から始まった流しそうめんでは、準備には参加できなかった留学生、日本人ボランティア学生、計40名程集まり、にぎやかな時間を夏の風物詩である、流しそうめん、かき氷などを食べて過ごした。日本人ボランティア学生が積極的に留学生に話しかける姿を見かけ、このイベントを通して、友好の和が広がる一日になったのではないかと思う。次回は、

10月にバス貸し切りの日帰り見学旅行を計画している。

(教育創造開発機構運営課 国際交流センター 小林美和)

催しもの案内

◆愛知教育大学天文台「第66回一般公開」

9月3日(土) 18:00~20:30 入場無料、事前申し込み不要

18:00~19:00 天文ミニ講座「なぜ銀河は渦を巻く？」講師：澤武文教授

19:00~20:30 観望会「再び、夏の星雲・星団観望会」

3D宇宙映像上映会(雨天の場合でも講座・上映会は実施)

詳細は天文台HPを参照。 <http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/index.html>

◆愛知教育大学 学術講演会 寺脇氏が本学で「教育」を語る

9月9日(金) 15:00~17:00 (入場無料、学外の方も参加可能)

愛知教育大学本部棟3階第五会議室

講師は寺脇研・京都造形芸術大学教授、演題「これからの教育を考える」

申し込みは8月31日まで。

問い合わせは、総務課 TEL 0566・26・2115

◆現代アート「目からウロコ展2011」

9月10日(土)~19日(火) 10:00~17:00 水曜休館 入場無料

刈谷駅前商店街 駅前ギャラリー「スペースAqua」

17日(土) 14:00~16:00 トークショー「こんなアートありますか？」

講師：加藤マンヤ 本学非常勤講師・現代アート作家

18日(日) 14:00~16:00 造形遊びワークショップ

「そんなことしてホントにいいの？」 小学生対象 参加有料

講師：本学美術科2年生

問い合わせは、刈谷駅前商店街振興組合 TEL 0566・23・2488

編集後記

教育支援復興学生ボランティアの皆さんへの新聞社の取材に立ち会いました。インタビューに応じた学生さんたちが「行ってよかった」と笑顔で話し、「教師を目指す人にはぜひ参加してほしい」と訴える姿が印象的でした。震災で非常時に教師が担う大きな役割が注目され、教員を目指す学生たちに動揺が広がるのではと心配しましたが、彼らの話から、現実を見据えて危険を察知して備えることの大切さ、教師の力量を考えさせられました。(K)

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二